# ようこうだより３月

令和６年３月１１日

社会福祉法人 みどり会
みどりの森
ようこうこども園

園長　日浦信介

恒例となっている年長ひかり組の登山、今年は熊のことを考慮して3/7（木）に宮島「弥山（標高 535m）」へ行ってきました。ロープウェーはメンテナンス中で運行停止しているため、普段に比べ登山者は随分少ないということでしたが、昨年の極楽寺山に比べれば倍以上の方とすれ違いました。中でも多かったのは外国人の方、「ハロ～」と子どもたちから話しかけ笑顔でハイタッチし、プチ国際交流が行われました。

頂上ではおいしいお弁当を食べて元気を補充、無事全員で下山することができました。私はその日から３日間足が棒でしたが、子どもたちはそんなことは関係なく、翌日も園庭を走り回っていました。

大聖院コースから出発

【子どもたちの声】
「自然が気持ちいい！ここに住みたいね、ママもほったらかして」
「ハローハロー、今日は友だちがたくさんできた！」
「また明日（弥山に）行きたい！」

**３月　行事予定**

1(金)　ひなまつり
2(土)　親子交流会（5 歳児）
7(木)　登山遠足（5 歳児）
21(木)　お別れ会
23(土)　卒園式

**４月　行事予定**

1(月)　入園・進級のつどい

ぼくの家はどっちだ～？

**【かがやき会、ありがとうございました！】**

2/17（土）の「かがやき会（リズム発表会）」では、多くの皆様にご来場いただき、また温かく見守っていただきありがとうございました。以下、アンケートを抜粋してご紹介します。

- 他のクラスのお友達の活動を直接観るのは初めてでした。お友達同士のやりとり、子どもたちからのリクエストなど、上のクラスだからこその様子が見られほっこりしました。また、気分が乗らないお友達の気持ちも、先生が大事にしている様子が印象的でした。～手書きのしおりもとても素敵で、ぬくもりイッパイの文章やイラストにも心温まりました。
- とても早くから保育園にあずけて、上の子２人とも違うので何も分からず不安もありながらのスタートでしたが、毎日ていねいにその日にあったこと、できるようになったことを教えてくださっていて、安心して仕事に行けるようになっていました。そしてかがやき会があり、先生と楽しそうにそして安心してニコニコ笑っているわが子を見て、日々感じていた安心感はまちがいではなかったのだと思えました。一人ひとりに対してしっかりと向き合ってくださり、先生と私とで一緒に成長を喜べる環

境で見てもらえて、とても幸せに思いました。家ですごすよりも長い保育園でとても楽しんでいるからこそ、常に子どももニコニコしてくれるんだろうと思えました。上の子の保育園は、0 歳児 1 歳児は発表会がないので、とても貴重な時間でした。ありがとうございました。

- 前日まで体調次第で出られるか分からない状態で不安でしたが、元気に当日を迎えられました。人見知りが激しい子なので緊張で座っているか、泣くかなと思っていましたが、全く泣くこともなく笑顔で身体を動かしていて嬉しく思いました。まだまだ上手く体を動かせない姿も愛おしく感じました。「次はなにするの？」というキラキラした眼差しで先生たちを見上げる姿が印象的で、大好きな先生たちとの園生活が想像できる時間でした。途中にお友だちにぶつかってしまう場面がありヒヤヒヤしましたが、その子も涙することなくリズムをしていて立派だなと感じました。最後らへんに私たちを見つけて、先生たちに必死に伝えようとする姿が面白かったです。見つけてからもきちんと帰ることができていて、どんぐりさんが自分の居場所になっているのだと感じました。入園して 2 か月で心も体も成長している姿が見られて嬉しく思います。
- お友達と笑い合いながらジャンプしたり、手を広げて回ったりして、楽しそうに取り組んでいる姿を見られました。1 年前と違い、〇〇本人から親の姿が見えないようにと観覧席で隠れる必要もなく、頼もしい姿になっていました。カメのリズムも両足を掴めるようになり、お歌も元気に歌えて、今まで先生方とたくさん取り組んできた成果を見させていただきました。お互いのグループを見るときは座ることもできていて、感心しました。途中イスから離れて動き回っていましたが、それも可愛かったです。
- かがやき会を数日前から楽しみにしていて「ママみていいよ！」とハリきっていた息子の姿を見て、リズムへの自信が伝わっていました。いざ本番!!緊張するかな？たけのこ組のころみたいにママを探すかな？と思っていましたが、入場から堂々とした顔で出てきて驚きました！どのリズムもとっても楽しそうに自信満々でしていたり、細かい部分（足指・手指）まで意識していたりと、またひとつ身体の使い方を知り成長しているんだなと思いました。大好きなひかり組さんとのリズムで憧れをもてていたり、かっこいい姿を真似てみたりしていたのかなと思うと、異年齢でリズムを楽しめていたことが息子にとっては大きなことだったのかなとも思います。こんなにもキラキラした顔を見れて本当に嬉しく感じました。また、だいこんにんじんで友達との関わりも見れて嬉しかったです。毎日の保育の中で丁寧に見守っていただいているからこその、あの自信満々な姿だったのだと思います。本当に毎日ありがとうございます。
- 〇〇ちゃんは、朝“ママとパパおっても手はふらんけえねぇ、ママはちゃんと座っとってよ”と言っていましたが、いざうさぎ組の発表がはじまるとすぐに私達を見つけて嬉しそうに手を振ってくれました。まだ 4 歳のかわいい〇〇ちゃんでした。お友達と一緒に色んなことに取り組めるようになったので、見てもらえるのがとても嬉しかったみたいです。大きくなるにつれて、私達の期待も大きくなり、お家ではちゃんとしなさい。自分でやりなさい。とおこることが多くなってきました。でも、今日のどんぐり組からひかり組のみんなの発表を見て、こんなにがんばっているし、そんなにおこる必要はないよな～と反省しました。その人その人のペースで成長しているし、このままのびのびと大きくなってもらいたいと思います。

• リズム大好きなので楽しくリズムするかなと思いきや、まさかの大泣きで…。（園に）行く途中でこけたのも原因かなとも思います。気をつけないとです…。でも大泣きの〇〇ちゃんを気にかけて声かけてくれたり、最後むかえに来てくれたり、お友達の優しいところがたくさん見れて、こんなお友達と毎日園生活してるんだなぁと思うと、すごく嬉しくて感動しました。
• 0 歳児クラスの時から毎年かがやき会を見てきて、毎年成長しているなと感じることがたくさんあり、子どもの成長のスピードにびっくりするとともに、毎日温かく見守ってくださる先生方に感謝しています。年上のクラスの発表も見て、来年自分の子どもたちはこんなにしっかりできるのかなと毎年びっくりしていますが、次の年になるとみんなと同じように発表していて嬉しく思っています。
• 家では甘えん坊の長男が、保育園ではピシッ！としていて、一生懸命取り組んでいる姿に感動しました。大きな声で歌い、体を大きく動かしている姿は、たくさんの練習の成果が感じられ、あっという間にお兄さんになったんだな～と実感しました。また、次男にとっては初めてのかがやき会。多くの人を前にかたまってしまいましたが、涙を流すでもなく中央でどっしりと座っている姿は、長男とは少し違うなと感じ、将来が楽しみです。笑

• 園でリズムの練習をした後は、「〇〇のやり方分からんでしょ？教えてあげよっか？」と自分が先生のようになって私に教えてくれました。ポイントとなる足の位置や伸ばす場所も分かっており、「ここの足がくっつくんよ～」など意識して練習している様子が伝わってきて、昨年と比べて成長を感じました。
• かがやき会の 2～3 日前から風邪ぎみで、当日も熱はないものの、咳で夜眠れない状態でした。いつもなら「明日、休もうか」と話すと即答で「うんうん！！」と何だか嬉しそうなのですが、17 日の深夜は、私がそのように問いかけても「お母さん、行きたい。行くよ！！」と言っており、このような返答が返ってくるのが初めてで驚きました。同時に、練習してきたことを私達に見てもらいたい気持ち、お友達と一緒にかがやき会に出たい気持ち、色々なものが伝わってきた深夜でした。とても嬉しく思いました。〇〇が、このような気持ちをかがやき会に対してもてるようにして下さった先生方に、感謝の気持ちでいっぱいです。
• 他のクラスのリズムに興味をもつようになりました。特に上のクラスへのあこがれが出てきて、家でもやってみていました。個のリズムから、グループのリズムで離れたり集まったり、ぶつからないよう気にしたり、とても難しい空間把握をしているなぁと感じました。
• かがやき会、昨年は当日演目を 1 つもできずにただ涙を流しながらイスに座っていました。恥ずかしい気持ちなのか、驚いたのかその複雑な感情は私には分かりませんが、それがこの子のありのままの姿だと見守っていました。今回もあまり勝手な期待はせず、どうあってもありのままの姿を受け入れようと思いながら、リズムの練習が始まった日から日々過ごしていました。担任の先生たちからは、頑張れる日があったり頑張れない日があったり…と色々と伺っていました。先生たちも、全員がそろって 100%全員でかがやき会（そら組）を成功させたいと思っていたかもしれません。それでも、各個人の思いを尊重してくださったこと、とても感謝しています。足並みをそろえることだけが正しく偉い事じゃない。今の大切な時期に、自分の思いや違和感を受け止めてくれる存在が身近にいる環境がその子の未来の可能性を広げてくれると信じています。娘が、かがやき会があと〇日と教えてくれるたびに、私も正直不安でいましたが、当日やるリズムとやらないリズムを自分で決め先生にはっきりと意思表示をしている姿に、この子は大丈夫だな。と感じることができました。いつもいつも本当に全ての先生方、たくさんの子どもたちを見守ってくださりありがとうございます。
• “人から言われて動く” のではなく、“自分で考えて動く” “子どもたちで助け合う” “子どもたちで考える”という姿が、あの短時間のうちに見ることができ、これなら小学校へ行っても大丈夫だな、やっていけるなと安心しました。
• 昨年のかがやき会は、イスから立ち上がれずに終了だったこともあり、親子ともども「今年こそは！」といきごんでのぞんだ本番。みごとに全てのリズムをやりきり、締めのあいさつの「せーの」

を言う大役もかっこよくやりきりました。

- かがやき会後、２人になった時などに「たくさん失敗しちゃった・・・」とポツリと話してくれました。今まで、失敗を恐れてしれっとやらなかったり、「やった」「できた」とごまかして逃げ出すことが多かった我が子が、自分の失敗をきちんと認め、向き合えたこと、とても大きな成長だと感じました。失敗につながった自分の課題も言葉にできていて、驚きました。自分の失敗を認め、振り返れたことはとてもすごいことだと本人に伝え、がんばって練習してきたからこその悔しさだし、次に繋がる素敵な失敗であることなど、一緒に失敗について考える機会になりました。翌日には、夕食のおかずを「失敗した」と嘆く父に、失敗は悪いものではないと諭していて、笑ってしまいました（笑）。親としては成功体験を積み重ねて欲しいと思いがちですが、失敗する体験も同じようにとても大切で、そこから考え学び、色々な感情を体験しながら幅のある大きな人になってくれたらと改めて考える機会になりました。また、これからもたくさん失敗したりつまづいたりするけれど、この子の中に立ち上がり乗り越える力が育っている、と親として信じられる根拠になり得る体験の１つにもなりました。

- 今回最後のかがやき会で、過去最高に自信があるように見えました。当日の夜も、かがやき会がどうであったか、自ら説明してくれて、昨年まではかがやき会について振り返ることを嫌がっていましたが、今年はそれがなく自ら話したいという姿勢で、本当にやりきったという会だったんだなと思うと、親としてとても嬉しく、こういった経験を重ねていってもらいたいと思いました。
- 子ども達の真剣な表情、楽しむ笑顔、緊張した顔、どの子も今を一生懸命な姿に感動しました。今年は年長クラスだったので、今までのことを思いながら見ると涙があふれてきました。はずかしくて照れながらふざけていたり、椅子にずっと座って動かなかったり…入場してこなかったり…そんな時も先生たちがあたたかく受け止めて下さったから今年の姿があるんだな～と、しみじみ感じました。本当にありがとうございました。自信に満ちあふれた表情がすごく心に残りました。

- 自分のクラスを観たら場所の交代をするようプログラムに書いてくれていたので、遠慮せず最初に前に座ることができました。すごく嬉しかったです♪プログラムに書いてくれていたり、最初にアナウンス等してくれていたのですが、やはり交代していない方や知らない方もいるように思ったので、保護者が座る時、分かるよう看板などを作りもっと周知してもらい、みんなが観たい場所で観れるといいなと思いました。プログラム毎（クラスの子どもが退場したら）交代を促すアナウンスをするのもありかな、と思います。
  ⇒保護者の皆様がより分かりやすくなるように、次年度ではプログラム毎でのアナウンスをして呼び掛けたいと思います。
- 事前にどっちに座るかわかっていたら、子どもを正面から見られたかなぁっと思いました。
  ⇒玄関からホールに入ってすぐの所に掲示していましたが、分かりづらかったですね。アナウンス等でもお知らせするようにしたいと思います。
- 毎年、お母さんを見つけて泣く子どもがいますが、リズムが終わるまで泣きっぱなしの子を見るのが心苦しいです。泣いている子はママといてもいいのではないでしょうか。
  ⇒子どもの意志で保護者の元へ行かれた場合には、保護者の方といていただくことも考慮していますが、“子どもの思いがどこにあるのか”によっては保育者の側で過ごすこともあるかと思っています。泣いていることを、全てにおいて保護者の方に委ねることは難しいと思いますが、子どもの思いに寄り添いながら一人ひとりに合わせた関わり方をしていきたいと思います。
- たけのこ組のリズム中でシャツが出ている子どもが多く少し気になりました。
  ⇒出番前にしっかりと確認しておきたいと思います。

- 帰りの経路がクラス毎に分かれていてスムーズに帰れるようになってと思いますが、口頭だけだとどのクラスがどこの部屋かわかりづらかったり、園の裏の道がわからなかったりするので、目視でわかるように掲示（矢印等）があるとよりスムーズになるかなと思いました！
  ⇒１部終了後の帰路の動線が分かりにくくなってしまったことは職員間での反省でも上がっています。次年度はより分かりやすい動線や掲示、アナウンスを含め考慮していきたいと思います。
- アンケートは、可能ならコドモン等でパソコン入力形式も可能にしていただけると助かる。
  ⇒紙媒体とコドモンを利用してのアンケート回答は、今後検討していきたいと思います。